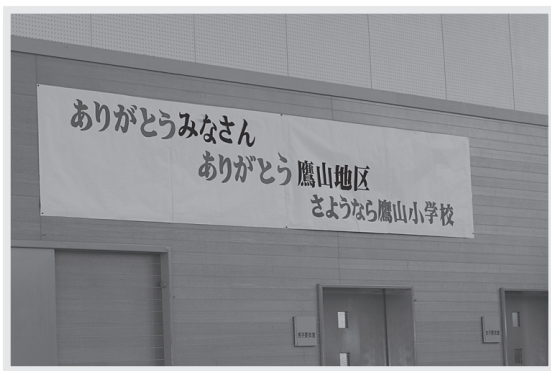


それぞれの歴史に幕を下ろす

「ありがとう さようなら」 3校が閉校

町立鷹山小学校、西中学校、東中学校の3校が、平成26年度をもって閉校となり、3月21日、22日には、各学校で、児童生徒のほか同窓生や旧職員が出席し閉校式が行われました。

閉校式では、学校長から学校設置者の町長に校旗が返納され、それぞれの歴史に幕が下ろされました。



鷹山小学校

鷹山小学校は、萩野小学校と滝野小学校を統合し平成10年4月に開校。平成19年4月には中山小学校が統合され、カリヨンの音が響く学び舎を173人が卒業しました。

たな学校でも、元気に素敵な学校生活を送ってほしい。」とあいさつされました。

最後の卒業生となった竹田悠馬くんは「カリヨンが響く自慢の学校で過ごした6年間でたくさんの思い出をつくった。鷹山小学校はなくなってもこれまでの伝統はなくなることはない。これからも鷹山地区の一員として地域のためにもがんばりたい。」と児童代表の言葉を述べました。

閉校式後の児童発表では、「学校坂道」などの合唱と百人一首の句を交えながら鷹山小学校での四季と学校生活を振り返り、地域とともに歩みたくさんの思い出をくれた学校と児童たちに大きな拍手が送られました。

また、学校敷地内には、校歌を刻んだ記念碑が建てられ、除幕式も行われました。

閉校式では、板坂校長先生が、町の音楽祭で合唱を披露したこと、地域の皆さんとの合同運動会、地域でもらい湯をした宿泊体験学習など、小規模校ならではの活動や思い出を話され「閉校は、さびしいことではあります悲しいことではありません。鷹山小学校で学んだことを誇りに、強い目標を持つてほしい。新

